様式第十四号の四（第三十四条の四関係）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年次有給休暇の日数 | 別表第一に定める訓練生を就かせる危険有害業務及び坑内労働の範囲中就業を予定する業務、使用者が講ずる措置及び終業場所 | | | |  | 職業訓練形態 | 訓練課程及び訓練科別許可対象労働者数及び契約期間 | | | |  | 事業の種類 | 職業訓練に関する特例許可申請書 |
|  |  |  | 訓練課程及び訓練科 |  | 所属団体名 |  |  |  | 訓練課程及び訓練科 |  | 事業の名称 |
|  |
|  |  |  | 就業予定業務 |  |  |  | 訓練生数 |  | 事業の所在地 |
|  | 所属団体所在地 |
| ※職業訓練の認定年月日及び認定番号 |
|  |  |  | 使用者が講ずる措置 |  |  |  | 契約期間 |  | 事業の全労働者数 |
|  |  |  | 就業場所 |
|  |

年　　月　　日

使用者　職　氏　　　　　名

労働局長殿

備考

職業能力開発促進法第二十四条第一項の認定を受けて、その構成員である事業主に雇用される者に対して職業訓練を行う団体（以下「共同訓練団体」という。）においては、当該団体の構成員に掛かる申請書の提出は、一括して行うこと。

記載心得

一　訓練整数の欄には、各訓練年度を通じた訓練生の概数について記載すること。

二　職業訓練形態の欄には、共同職業訓練、単独職業訓練の別を記載すること。

三　所属団体名の欄には、共同職業訓練の場合においてその所属する共同職業訓練団体名を記載すること。

四　就業場所の欄には、当該業務に就かせる場所について当該事業場、共同職業訓練場所の別を記載すること。

五　年次有給休暇の日数の項には、未成年者である訓練生に関するものを記載すること。

六　※印の欄は、本件許可申請を職業能力開発促進法第二十四条第一項の認定の申請と同時に行う場合には、記載する必要がないこと。